

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算 (千円)	H28予算 (千円)	H27交付金 決算額 (千円)	H28交付金 予算額 (千円)	総合戦略 基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)								
1	H15~	商工業事業資金利子補給支援事業	市内商工業者が経営安定と事業発展のため事業資金の融資を受けた場合、利子補給する。	経営安定が図られた商工業者(数/年)	30	34	38	3. 効果が あった	3. 事業の継続	2,495	1,400	2,495 (先行型交付金事業)		I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
2	H27~	地域ものづくり企業成長投資支援事業	市内に工場等を有する企業が行う設備投資に助成金を交付し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた企業(社/年)	—	4	4	—	3. 事業の継続	18,500	18,500	18,500 (先行型交付金事業)		I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
3	H27~	外国人誘客促進事業	外国人向けの観光パンフレットやホームページを作成し、海外からの誘客を図る。	ウェブ閲覧数(数/年)	—	1,747	5,000	—	3. 事業の継続	781	1,300	781 (先行型交付金事業)	2,500 (地方創生 推進交付金 事業)	I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
4	H27~	ふるさとづくり推進事業	市の魅力を紹介し愛着を感じてもらおう体験ツアーを開催する。	開催回数(回/年)	—	2	4	—	3. 事業の継続	688	2,115	688 (先行型交付金事業)		I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
5	H27~	てっ!!『すぐ行けるじゃん南アルプス』高速バス利用促進事業	平成27年3月から運行開始した中央高速バス「南アルプス市~新宿線」へのラッピングやバスチケットの割引により首都圏からの利用促進を図る。	バスの割引チケット利用者数(人/年)	—	12,651	13,000	—	2. 事業内容の見直し	14,228	7,778	14,228 (先行型交付金事業)		II 本市への新しいひとの流れをつくる	交通政策室
6	H27~	空き家活用定住促進事業	空き家解消と定住促進を目的に「空き家バンク」への登録物件へリフォーム費用を補助する。	空き家バンク成約数(件/年)	4	7	10	2. 相当程度 効果があった	3. 事業の継続	3,439	5,000	3,439 (先行型交付金事業)		II 本市への新しいひとの流れをつくる	政策推進課
7	H27~	ホームスタート事業(地域子育て支援力拡大事業)	市内在住で就学前の子どもが1人でもいる家庭に、研修を受けた子育て経験者のボランティアであるホームビジターが週に1回訪問し、一緒に家事・育児をしながら子育てに関する相談に乗る。	利用人数(人/年)	—	15	20	—	3. 事業の継続	9,538	3,670	9,538 (先行型交付金事業)		III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課
8	H27~	ホームスタート事業ビジター養成事業(地域子育て支援力拡大事業)	ホームビジターを研修等を通じて養成する。	ホームビジター数(人)	—	23	30	—	3. 事業の継続				III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課	
9	H27~	子育て支援ネットワーク拡大事業(地域子育て支援力拡大事業)	地域の子育て支援力の拡大を図るため、子育て支援ネットワークの拡大のためのイベント開催等を行う。	参加団体数(団体)	6	8	15	1. 非常に効果的であった	3. 事業の継続				III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課	
10	H28~	子ども医療費助成事業(拡大)	子どもにかかる医療費を助成し、家庭の経済的負担軽減と、子どもの保健福祉の増進を図る。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	—	—	45	—	3. 事業の継続	6,692	47,424	6,692 (先行型交付金事業)		III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課

資料2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算 (千円)	H28予算 (千円)	H27交付金 決算額 (千円)	H28交付金 予算額 (千円)	総合戦略 基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)								
11	H26～	コミュニティバス運行事業	・芦安コース…1日10便 ・北コース…1日8便 ・南コース…1日8便	公共交通の便利さに関する満足度(%)	11.4	20.3	19.0	2. 相当程度効果があった	1. 追加等更に発展させる					IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	交通政策室
12	H26～	高齢者タクシー券発行事業	75歳以上の高齢者にタクシー初乗りチケット(730円)発行 2枚×12月=24枚(年間)	公共交通の便利さに関する満足度(%)	11.4	20.3	19.0	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	28,131	44,720	28,131 (先行型交付金事業)		IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	交通政策室
13	H27～	コミュニティタクシー実証事業	・楡形西地区での試験運行	公共交通の便利さに関する満足度(%)	11.4	20.3	19.0	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続			10,728		IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	交通政策室
14	H27～	芦安地区一人暮らし高齢者見守り事業	芦安地域に住む一人暮らし高齢者への見守り巡回サービスを実施する。	訪問者数(人/年)	—	26	25	—	3. 事業の継続	587	785	587 (先行型交付金事業)		IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
15	H27～	南アルプス市総合戦略策定事業	まち・ひと・しごと創生法案にもとづく「南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。	南アルプスまち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の策定	—	1	—	1. 非常に効果的であった	5. 予定どおり事業終了	9,906	567	9,906 (先行型交付金事業)		I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	政策推進課
16	H28	新公共交通推進事業	コミュニティバスの運行をより円滑に推進するため、ハブ拠点の整備並びにバス2台を増設し新路線を構築する。	公共交通の便利さに関する満足度(%)	—	—	—	—	3. 事業の継続	—	23,716	—	23,716 (加速化交付金事業)	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	交通政策室
交付金対象事業												94,985			

資料2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算(千円)	H28予算(千円)	H27交付金決算額(千円)	H28交付金予算額(千円)	総合戦略基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値(H26)	実績値(H27)	目標値(H31)								
17	H17~	企業ガイダンス開催事業	求職を希望する市民の就職促進と、市内企業の人材確保を支援するため、南アルプス市企業ガイダンスを開催する。	参加企業数(社/年)	32	33	40	3. 効果があつた	3. 事業の継続	423	469			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
18	H18~	企業支援誘致推進事業	市内企業の工場拡張、企業誘致などの支援を行い、市の産業経済の活性化を図る。	新規工場立地数(数/年)	0	1	1	3. 効果があつた	3. 事業の継続	22,661	1,704			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
19	H18~	男女共同参画啓発事業	市民一人ひとりが自分を大切に、相手を思いやり、自分らしい生き方のできる男女共同参画社会の必要性について理解を深めてもらうため、市民に意識の啓発を行う。	男女共同参画の推進が重要だと思う市民の割合(%)	30.5	32.5	35.0	3. 効果があつた	3. 事業の継続	224	243			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	みんなでまちづくり推進課
20	H18~	障害者の就労支援(障害者相談支援事業)	福祉総合相談課の生活困窮者支援事業と合わせ、一人ひとりに応じた「働けるまちづくり」の実現を目指す。(人材育成セミナー、雇用拡大セミナー、本人家族学習会、サポーター・支援者学習会、普及啓発活動)	福祉サービス利用による企業などへの一般就労者数(数/年)	11	8	22	3. 効果があつた	3. 事業の継続	100	100			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	障害福祉課
21	H24~	担い手支援事業(地域おこし協力隊支援事業)	定住意向のある都市圏在住の就農希望者を市が認定した支援機関において農業技術の習得、営農活動を指導、支援を行い新たな担い手の育成を図る。	協力隊員数(人)	5	6	8	3. 効果があつた	3. 事業の継続	8,086	26,697			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	農業振興課
22	H24~	青年就農給付金事業	青年(45歳未満)の就農意欲を掘り起こし、就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な増大を図ることを目的に、就農後の経営リスクの負担軽減を図るため、生活給付金を就農後5年間支給する。	新規青年就農者(45歳未満)(人/年)	18	24	32	3. 効果があつた	3. 事業の継続	36,128	40,610			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	農業振興課
23	H26~	広河原山荘改築事業	建築後30年が経過し老朽化した山荘の移設を視野に入れた新築を行い、広河原エリアのインフォメーション機能の充実と観光拠点の整備を行う。	施設利用者(人/年)	3,722	3,630	3,430	4. 効果がなかった	3. 事業の継続	746	5,724			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
24	H27~	介護予防の推進(いきいき100歳体操の推進)	高齢者が歩いて通える範囲に住民運営の通いの場を創出し、「いきいき100歳体操」の普及に取り組み、介護予防を推進する。	住民運営の通いの場となる拠点の数	—	1	50	—	3. 事業の継続	153	1,748			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	介護福祉課
25	H28~	南アルプスブランド戦略事業	本市ならではの農産物の育成、「南アルプスブランド」の確立により農業の付加価値を高めていくとともに、果樹等の産地化を進め産地間競争力の強化を図る。	貴陽・皇寿・シャインマスカット・あんぼ柿の出荷量(kg/年)	—	—	519,500	—	3. 事業の継続	—	3,826			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	農業振興課
26	H28~	中高年の新規就農者支援事業	青年就農交付金の対象が45歳未満のため、45~60歳未満までの就農支援として、生活給付金を就農後3年間支給する。	新規青年就農者(45歳以上60歳未満)(人/年)	—	—	5	—	3. 事業の継続	—	4,500			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	農業振興課

資料2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算 (千円)	H28予算 (千円)	H27交付金 決算額 (千円)	H28交付金 予算額 (千円)	総合戦略 基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)								
27	H28～	住宅リフォーム等総合支援事業	市民の居住環境の向上を図るとともに、本市の経済の活性化に役立てる為、市内の施工業者により行う住宅リフォーム等工事の一部を補助する。	リフォーム住宅の申し込み数(件/年)	—	—	50	—	3. 事業の継続	—	5,000			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	建築住宅課
28	H28～ H29	特産野菜試験栽培支援補助事業	新たな特産品開発のため、ほたるみ館に委託を行い、多品種の野菜の試験栽培を行う。	—	—	—	—	—	3. 事業の継続	—	1,000			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	農業振興課
29	H28～	新規創業者資金借入補助金支援事業	市内で新規に創業する事業者を対象に、借入金の補助を行う。	雇用創出数(件/年)	—	—	10	—	3. 事業の継続	—	1,000			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
30	H28～	創業支援事業	優秀な人材、優良な企業や新規創業者の創出や就業機会の確保を行うために創業支援セミナーや合同就職面接会を行う。	雇用創出数(件/年)	—	—	20	—	3. 事業の継続	—	8,292			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
31	H28～	雇用創出奨励金事業	市内の中小企業が市内住民を新たに雇用した場合に助成金を交付する。	雇用創出数(件/年)	—	—	20	—	3. 事業の継続	—	6,000			I 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	観光商工課
32	H19～	空き家バンク事業	空き家の有効活用を通して、市民と都市住民の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。	空き家バンク成約数(件/年)	4	7	10	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	52	82			II 本市への新しいひとの流れをつくる	政策推進課
33	H28～	滞在型市民農園施設整備事業	遊休農地及び耕作放棄地対策として、また都市との交流人口の増加を図り、地域の活性化に繋がることを目的に滞在型市民農園(クラインガルテン)の拡充を行う。	クラインガルテン整備エリア累計(箇所)	2(参考値)	—	3	—	3. 事業の継続	—	2,800			II 本市への新しいひとの流れをつくる	農業振興課
34	H28～ H29	ホームページリニューアル事業	より情報を見やすく、わかりやすいホームページにリニューアルすることで、魅力ある南アルプス市を広く発信する。	アクセス数(件/年)	—	2,270,140	3,000,000	—	3. 事業の継続	—	4,704			II 本市への新しいひとの流れをつくる	秘書課
35	H28～	若者世帯定住支援奨励金事業	若い世代の定住を促進するため、土地及び住宅を新築若しくは購入する若者世代に購入費の一部を助成する。	申請件数(件/年)	—	—	50	—	3. 事業の継続	—	24,000			II 本市への新しいひとの流れをつくる	政策推進課
36	H27～	不妊治療費助成事業	不妊治療費を受けている夫婦に対して、治療費の一部を助成する。	助成した件数(件/年)	—	61	120	—	3. 事業の継続	5,135	11,054			III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	健康増進課

資料 2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算 (千円)	H28予算 (千円)	H27交付金 決算額 (千円)	H28交付金 予算額 (千円)	総合戦略 基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)								
37	H26～	結婚相談事業	結婚を希望する者に対し、結婚に関する情報提供及び相談事業を行い、少子化対策に寄与する。	結婚相談所に登録した人数	34	56	70	3. 効果が あった	3. 事業の継続	615	828			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	みんなでまちづくり推進課
38	H27～	産前産後ケア事業	妊娠届出時から出産後の状況を情報収集しながら母に寄り添い、楽しく出産育児ができるよう支援を行う。	子育てが楽しいと回答する母の割合(%)	—	—	90.0	—	3. 事業の継続	1,041	13,122			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	健康増進課
39	H28	結婚新生活支援事業	対象: 所得300万円未満の新婚世帯 住居費、引越し費用など新生活のスタート費用の一部を補助(上限18万円)	支援件数	—	—	—	—	3. 事業の継続	—	10,800			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	みんなでまちづくり推進課
40	H28～	放課後児童クラブ整備事業	H28・・・百田、櫛形北、櫛形西、第2児童クラブの適正化 H29～ その他の放課後児童クラブの適正化	適正規模での放課後児童クラブ数	3	—	18	—	3. 事業の継続	—	55,540			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課
41	H28～	ベビーベッド貸出事業	子育て世帯の負担軽減を目的に、希望者に無料でベビーベッドの貸出しを行う。	ベビーベッド貸し出し実績(件/年)	—	—	100	—	3. 事業の継続	—	1,260			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課
42	H28～	保育料多子軽減枠の拡大	保育所・幼稚園とも第1子の年齢にかかわらず第2子は半額、第3子以降は無料とする。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	—	—	45	—	3. 事業の継続	—	—			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課
43	H28～	がんばる子育て応援利子補給事業	市内の金融機関から大学等に進学する際に教育資金を借り入れた者のうち、子どもが3人以上いる多子世帯に年間利息の2分の1(上限5万円)を在学中及び卒業後3年間補助する。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	—	—	45	—	3. 事業の継続	—	2,000			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	政策推進課
44	H28～	がんばる子育て応援定住補助金交付事業	がんばる子育て応援利子補給事業の利子補給受給者のうち卒業後3年定住し、就業している場合は、未返済額の1/2上限50万円補助(繰上返済に充当)	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	—	—	45	—	3. 事業の継続	—	—			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	政策推進課
45	H28～	新生児おむつ代支給事業	満1歳未満の乳児を対象とした産後の育児支援のため、1歳になる月の末日までおむつ及び関連品の購入に対して補助し子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。	子育てが楽しいと回答する母の割合(%)	—	—	90.0	—	3. 事業の継続	—	8,000			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	健康増進課
46	H29以降	子育て支援センター運営事業	子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員等を配置し、当事者目線での相談支援を行い、子育て支援に係る施設・事業等の利用につなげる。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	—	—	45	—	3. 事業の継続	—	—			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課

資料2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算 (千円)	H28予算 (千円)	H27交付金 決算額 (千円)	H28交付金 予算額 (千円)	総合戦略 基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)								
47	H29以降	病児保育事業	病気の児童を病院・保育所の専用スペースで看護師等が一時保育する。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	—	—	45	—	3. 事業の継続	—	—			Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援課
48	H20～	下水道地震対策緊急整備事業	緊急輸送路下の管路施設の耐震化として、マンホール浮上防止対策を推進する。 H28 マンホール浮上防止対策 49箇所 H29 マンホール浮上防止対策 24箇所	耐震化対策済箇所	84	133	198	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	44,572	22,000			Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	下水道課
49	H15～	水道施設老朽管更新事業	老朽管更新計画(H28～)及び耐震化計画に基づき老朽管路を耐震管に更新を行う。	管路総延長における老朽管の割合(%)	12.94	12.72	11.04	3. 効果があった	3. 事業の継続	12,389	110,254			Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	工務課
50	H15～	自主防災組織運営支援事業	災害時に備え、自主防災会が災害時の活動に備え、日頃から実施する防災対策(防災知識の啓発・普及、防災資機材の点検整備、防災訓練など)を支援するため運営交付金を交付する。	防災訓練参加者数(人/年)	25,312	25,667	26,000	3. 効果があった	3. 事業の継続	2,880	2,858			Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理室
51	H15～	消防団本団活動事業	南アルプス市消防団本団活動を支援する。 消防団員が火災時に消火活動等をスムーズにこなせるように、活動服、半長靴や防塵マスク、防護メガネ等各種装備を支給したり、また消防団員を消防学校に出向させ、各種訓練を受けることにより、消火活動に必要な技術の習得をする。	消防団員数/定員数(800人)(%)	92.5	91.4	96.3	3. 効果があった	3. 事業の継続	15,293	16,023			Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	消防本部消防課
52	H15～	消費生活研究事業	市民自らが賢い消費者となるよう消費者啓発活動の実施や消費生活相談窓口を設置する。	啓発教室に参加した市民の数(人/年)	116	227	250	3. 効果があった	3. 事業の継続	1,239	1,435			Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	みんなであちづくり推進課
53	H15～	道水路の維持管理事業	安全で快適な道路環境を維持するため、道路施設(道水路、街路灯等)の維持管理を行う。	水害の心配がないと回答した市民の割合(%)	54.2	59.4	56.0	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	131,389	102,698			Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	道路整備課

資料 2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算(千円)	H28予算(千円)	H27交付金決算額(千円)	H28交付金予算額(千円)	総合戦略基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値(H26)	実績値(H27)	目標値(H31)								
54	H15~	芦安地区通勤支援事業	芦安地区の人口の減少を防止し、住民の増加と定住化を図るため、一定の条件を満たした住民に通勤費を3年間支給する。	支援件数(人/年)	8	13	14	3. 効果があった	3. 事業の継続	866	1,309			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
55	H15~	芦安地区結婚関連支援事業	芦安地区の人口の減少を防止し、住民の増加と定住化を図るため、芦安地区の住民が結婚し夫婦がともに同地区の住民として定住した場合、結婚祝金を支給する。	芦安地区に定住したいと思う夫婦(件/年)	0	0	2	—	3. 事業の継続	0	50			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
56	H16~	自治会防犯灯設置支援事業	自治会が管理を行っているエリア内での防犯灯の設置や修繕に対し補助金を交付する。	街路灯や防犯灯の設置、青色パトロールカーの巡回など防犯対策について満足していると答えた市民の割合(%)	42.7	42.8	45.0	3. 効果があった	3. 事業の継続	4,952	3,000			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	みんなでまちづくり推進課
57	H17~	防犯対策事業	市内の小・中学校、大型店舗、果樹地帯などを防犯対策のために青色防犯パトロールを行う。	街路灯や防犯灯の設置、青色パトロールカーの巡回など防犯対策について満足していると答えた市民の割合(%)	42.7	42.8	45.0	3. 効果があった	3. 事業の継続	5,189	5,429			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	みんなでまちづくり推進課
58	H18~	自主防災組織防災資機材整備支援事業	自主防災組織が防災資機材を購入・修繕した場合20万円(小型ポンプ購入の場合は60万円)を限度に経費の2/3の額を助成する。	助成を受けた自主防災会数(数/年)	54	45	56	3. 効果があった	3. 事業の継続	7,843	6,950			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理室
59	H19~	道路新設改良事業(補助)	道路整備プログラムに位置付けられた市の骨格を形成する幹線道路の整備と補助幹線道路及び歩道整備により、地域住民の安全確保・利便性向上を図る。【若草1号線、櫛形8号線、下宮地荊沢線、八田13・161号線、西南湖東南湖線】	目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合(%)	52.9	58.3	60.0	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	301,424	356,000			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	道路整備課
60	H20~	橋梁長寿命化修繕計画事業	道路交通の安全性を確保し、今後増大が見込まれる橋梁の修繕等に要する費用のコスト縮減を図るため、橋梁点検の実施と修繕計画の策定を行う。	修繕耐震化済箇所/計画による目標値(164)(%)	83.5	87.2	100.0	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	68,035	97,436			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	道路整備課
61	H24~ H29	地域エネルギー活用プロジェクト(油脂酵母)	油脂酵母を用いた研究を山梨大学等と連携して実施し、市内の未利用農産物から燃料用油脂(バイオディーゼル燃料)の生産を目指す。	スクリーニングの結果(菌の種類)	373	420	—	—	2. 事業内容の見直し	5,103	5,200			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	環境課

資料 2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算 (千円)	H28予算 (千円)	H27交付金 決算額 (千円)	H28交付金 予算額 (千円)	総合戦略 基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)								
62	H25~	ユネスコエコパーク推進事業	ユネスコエコパークに登録された南アルプスについての普及啓発事業及びPRを実施する。	ユネスコエコパークの認知度(%)	26.5	39.4	50.0	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	9,299	10,757			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	ユネスコエコパーク推進室
63	H25~	わくわくエコチャレンジ事業	家庭での省エネ行動によって削減した電気代等の使用量を温室効果ガス(CO2)に換算し、その削減量に応じたポイントを景品と交換できる手軽なエコ活動により温暖化対策の推進を図る。	節電に対する意識をしたと答えた人の割合(%)	69.4	71.2	73.0	3. 効果があった	3. 事業の継続	1,171	1,339			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	環境課
64	H27~	公共施設再配置推進事業	将来の財政見通しを踏まえ、必要な施設の老朽化対策と適正な維持管理を継続するため、統廃合や用途変更等による再配置を推進する。	延べ床面積の削減量累計(m ²)	—	1,167	12,000	—	3. 事業の継続	41	742			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	行政改革推進室
65	H27~	都市公園長寿命化改修事業	長寿命化対策計画に基づき、安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図り、都市公園の長寿命化を図る。	修繕・更新完了公園数	—	1	4	2. 相当程度効果があった	3. 事業の継続	36,999	37,000			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	都市計画課
66	H28	データ放送整備事業	全世帯に対して災害に関する情報を確実に伝えられる環境整備の一環として、市民が情報を受け取れる手段を増やすため、加入率85%のCATVを活用するシステムを構築する。	CATVを利用して市からの情報をデータ放送で取得できる件数(件)	—	—	22,100	—	3. 事業の継続	0	27,648			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理室
67	H28~	コミュニティソーシャルワーカーの設置	生きづらさを抱える一人ひとりに寄り添うきめ細やかな相談支援を行い、必要な制度につなげるとともに、住民や関係機関を巻き込み、地域の課題を解決したり、地域づくりをコーディネートをする専門職の配置	相談件数(件/年)	—	—	450	—	3. 事業の継続	—	25,000			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課
68	H28~	舗装長寿命化修繕計画事業	道路交通の安全性を確保し、今後増大が見込まれる舗装の修繕等に要する費用のコスト削減を図る。	修繕延長/計画策定総延長数(%)	—	—	100	—	3. 事業の継続	—	5,529			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	道路整備課
69	H28~	芦安地区地域づくり支援事業	芦安地区の地域振興に関わる団体が、自主的・継続的に地域の活性化の取り組みが行えるよう支援する。	交付申請件数(件/年)	—	—	4	—	3. 事業の継続	—	2,123			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
70	H28~	芦安地区地域おこし協力隊事業	人口減少、高齢化が進む芦安地区において地域おこし協力隊を採用し、定住と地域力の維持及び強化を図る。	地域活動参加者(人/年)	—	—	45	—	3. 事業の継続	—	1,788			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター

資料 2

NO	事業年度	事業名称	事業の概要・目的	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実施効果 1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	今後の方針 1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	H27決算(千円)	H28予算(千円)	H27交付金決算額(千円)	H28交付金予算額(千円)	総合戦略基本目標との関係	担当部課名
				指標値	現状値(H26)	実績値(H27)	目標値(H31)								
71	H28～	芦安地区集落支援員事業	人口減少、高齢化が進む芦安地区において集落支援員1名を採用し、市職員及び地域住民と連携しながら集落の課題対策を図る。	自治会・地域団体との連携回数(回/年)	—	—	24	—	3. 事業の継続	—	1,476			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
72	H28～	芦安地区土砂災害対策支援事業	芦安地区の土砂災害特別警戒区域内にある住宅等を新築、増築又は改築する場合、一戸当たりの建築構造強化経費の1/2の金額を補助する。	対象家屋改修数(件/年)	—	—	1	—	3. 事業の継続	—	4,000			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
73	H15～	芦安地区利子補給金事業	・芦安地区において工場等を新設又は増設し、新たに住民の雇用を図った者 ・住宅を新築又は増築し定住した者 上記の100万円以上の借入金に対して、年1%の利子補給金(上限5万円)を3年間支給する。	対象件数(件/年)	0	0	1	—	3. 事業の継続	—	50			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	芦安支所芦安窓口サービスセンター
74	H28～	空家等対策事業	地域の生活環境の保全を図るため、多岐にわたる空家問題に対し必要に応じて指導や勧告を行う。	是正された空き家の数(件/年)	—	—	5	—	3. 事業の継続	—	6,422			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	建築住宅課
75	H28～	既存借上型市営住宅事業	新規入居可能な市営住宅が限られているため、既存の民間賃貸住宅を借上げ、市営住宅として転貸する。	民間賃貸住宅の応募戸数(戸)	—	—	5	—	3. 事業の継続	—	3,000			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	建築住宅課
76	H28～ H30	芦安伝統文化継承事業	芦安地域に残された歴史や文化を地域資源として住民自らが再発見し、幅広い地域づくりに活かす。	地域資源を紹介する地域のガイド(人)	—	—	10	—	3. 事業の継続	—	352			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	文化財課
77	H28～	フィールドミュージアム推進事業	市内全体をひとつの博物館と考え、地域の人々が文化的資源を再発見し、資料を蓄積しながら現地で展示公開をはかり、地域の魅力を広く情報発信する。	アーカイブへの蓄積数(件)	—	—	50	—	3. 事業の継続	—	1,006			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	文化財課
78	H28～	小中一貫教育調査事業	地域や学校の実態や特性に応じた学校運営協議会の組織・運営と、それを活用した教育活動の調査・研究を行う。特に芦安小中学校については、隣接していることもあり、将来的な小中一貫校に向け検討する。	小中一貫校の立ち上げ数(校)	—	—	1	—	3. 事業の継続	—	230			IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	学校教育推進課

資料2